

医療面接の基礎

責任者・コーディネーター	人間科学科心理学・行動科学分野 相澤 文恵 准教授		
担当講座・学科(分野)	人間科学科心理学・行動科学分野		
担 当 教 員	相澤 文恵 准教授、藤澤 美穂 助教		
対象学年	1	区分・時間数	講義 15 時間
期 間	後期		

・学習方針（講義概要等）

医療の担い手の一員として、患者、同僚、他職種専門職や地域社会との信頼関係を確立するためには、相手のこころや立場、価値観等の理解と尊重が必要となる。本講義では、医療面接に必要な態度と基本的技法を修得するために、コミュニケーションの基礎、行動科学理論を用いたヘルスコミュニケーション、患者の特性に応じた医療面接等について学ぶ。さらに、基本的な理論を学んだ後、学生同士によるロールプレイを行い、理論の理解を深めることによって医療面接を効果的に行う基礎を身につける。

・教育成果（アウトカム）

1. コミュニケーションと医療面接の基礎を学修することで、対人理解・対人援助に関する基本的な知識と態度を習得し、相手の立場に立った援助ができるようになる。
2. 他者との信頼関係や他者配慮的態度について学修することで、チーム医療に寄与できるコミュニケーション能力を身に付け、実践することが出来る。
3. ストレスマネジメント概念を理解することで、自身のメンタルヘルスの保持増進のため必要な行動をとることが出来る。

・到達目標（SBO）

1. 医療面接に用いられる基本的技術について説明できる。
2. カウンセラーに必要な態度について説明できる
3. ヘルスコミュニケーションについて説明できる
4. 行動科学理論をヘルスコミュニケーションへ応用する方法について説明できる。
5. ストレスマネジメントとセルフケアの重要性について理解し、説明できる。

・講義日程

(矢) 西 105 1-E 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
9/9	金	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	コミュニケーションの基礎
9/16	金	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	カウンセリングの基礎

9/30	金	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教	<演習> 受容・共感(1)
10/7	金	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教	<演習> 受容・共感(2)
10/14	金	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	ヘルスコミュニケーション理論の理解
11/11	金	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教	<演習> ヘルスコミュニケーション理論の応用
11/18	金	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	個人と環境の相互作用を理解する
11/25	金	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	態度分析、医療面接のまとめ
12/2	金	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	<演習> クライアントからの質問への応用
12/9	金	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	トラウマティックストレスの理解とストレスマネジメント

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	はじめての医療面接 コミュニケーション技法とその学び方	斎藤清二	医学書院	2000

・成績評価方法

定期試験の成績を 70%、演習への取り組みと提出物を 30%として評価する。

・事前学修時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、参考書等・レジメを用いて予習・復習を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC (MacBook Air MD711J/A)	1	講義資料の提示
講義	プロジェクター	1	講義資料・教材の提示
講義	DVD(BR)プレーヤー	1	教材の提示

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	書画カメラ	1	教材の提示
講義	デスクトップ PC (iMac21.5 ZOMP CTO Education)	1	講義資料の作成